



# 会津医療センターから こんにちは！



**感染対策部**  
【32】主任看護技師 小野寺 健士



## 『感染対策には手指衛生』

**皆**さん、早速ですが、最強の感染対策をご存じでしょうか。

私は2017年に感染管理認定看護師の資格を取得し、それ以降、感染対策部という部署で感染対策を推進しています。感染対策の対象は、患者さまに限らず、面会者、職員など、病院に出入りするすべての人々です。院内各部署の他職種と組織横断的に連携して活動しています。例えば、感染対策の指導、感染対策に関する相談対応、職員教育、院内の感染症発生調査などです。中でも、手指衛生の推進に最も力を入れています。

今や感染対策はメディアでも多く取り上げられ、「手指衛生」という言葉を聞いたことがある方も多いのではないのでしょうか。手指衛生は手を洗ったり消毒したりすることです。

なぜ手をきれいにしなければならないのか。その理由は、手はあらゆる行為で使用頻度が高く、汚れや菌による汚染が起こりやすい部位でもあるからです。その手で医療行為をしたり、自らの目や鼻の粘膜を擦ったりすると…たちまち感染が広がっていきます。特に今の時期は冬の2大感染症であるインフルエンザや感染性胃腸炎の流行があり、福島県や会津地域の流行状況を見るたびに、ひやひやしています。これらについても「感染対策、何すればいい!？」と聞かれれば、「まずは手指衛生!」と断言します。

さて、最強の感染対策…それはもちろん手指衛生です。手指衛生さえすればすべての感染を防げるわけではありません。しかしそうは言っても、感染対策で常に重要項目として挙げられるのが手指衛生です。働く職員の手が清潔であることによって感染は未然に防がれ、本当の意味でキレイな病院となり、安全・安心な医療の提供に繋がります。当院が、見た目だけでなく、感染対策上もキレイな病院であり続けるよう、努力し続けていきたいと思っております。今後とも「感染対策のおじさん看護師」をよろしくお願いいたします。